

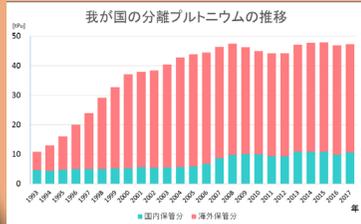


# 研究プラットフォームとしての高速実験炉「常陽」の役割

## 脱炭素社会の実現、エネルギーセキュリティの確保

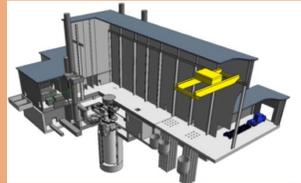
### プルトニウム利用、核不拡散

- 分離済プルトニウムの利用・燃焼
- プルトニウム燃焼炉の開発



分離済プルトニウムの削減

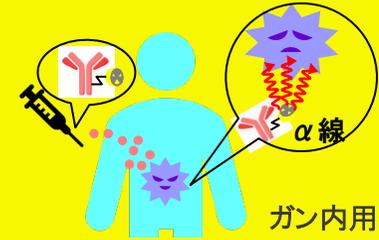
- 実証炉、次世代炉開発
- 民間のイノベーション開発への支援
- 新燃料・材料開発、安全性向上
- 日仏、日米協力（開発、協働）



米国多目的研究炉 VTR

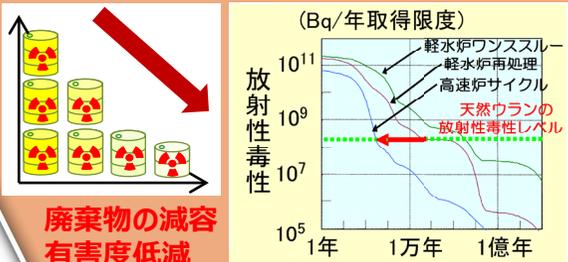
### 医療・産業のイノベーション創出

- 治療・診断用アイソトープ製造



### 高速実験炉「常陽」

- マイナーアクチノイドを燃料に混ぜて燃焼
- 放射性廃棄物の短寿命化



廃棄物の減容  
有害度低減

- 大学・高専との連携
- 海外技術者の受け入れ

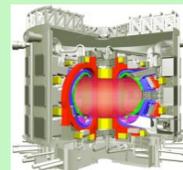


学生実習



海外研究者の  
インターンシップ研修

- 基礎基盤研究・多目的利用
- 大学利用、国際貢献
- 核融合炉開発（第1壁材開発など）

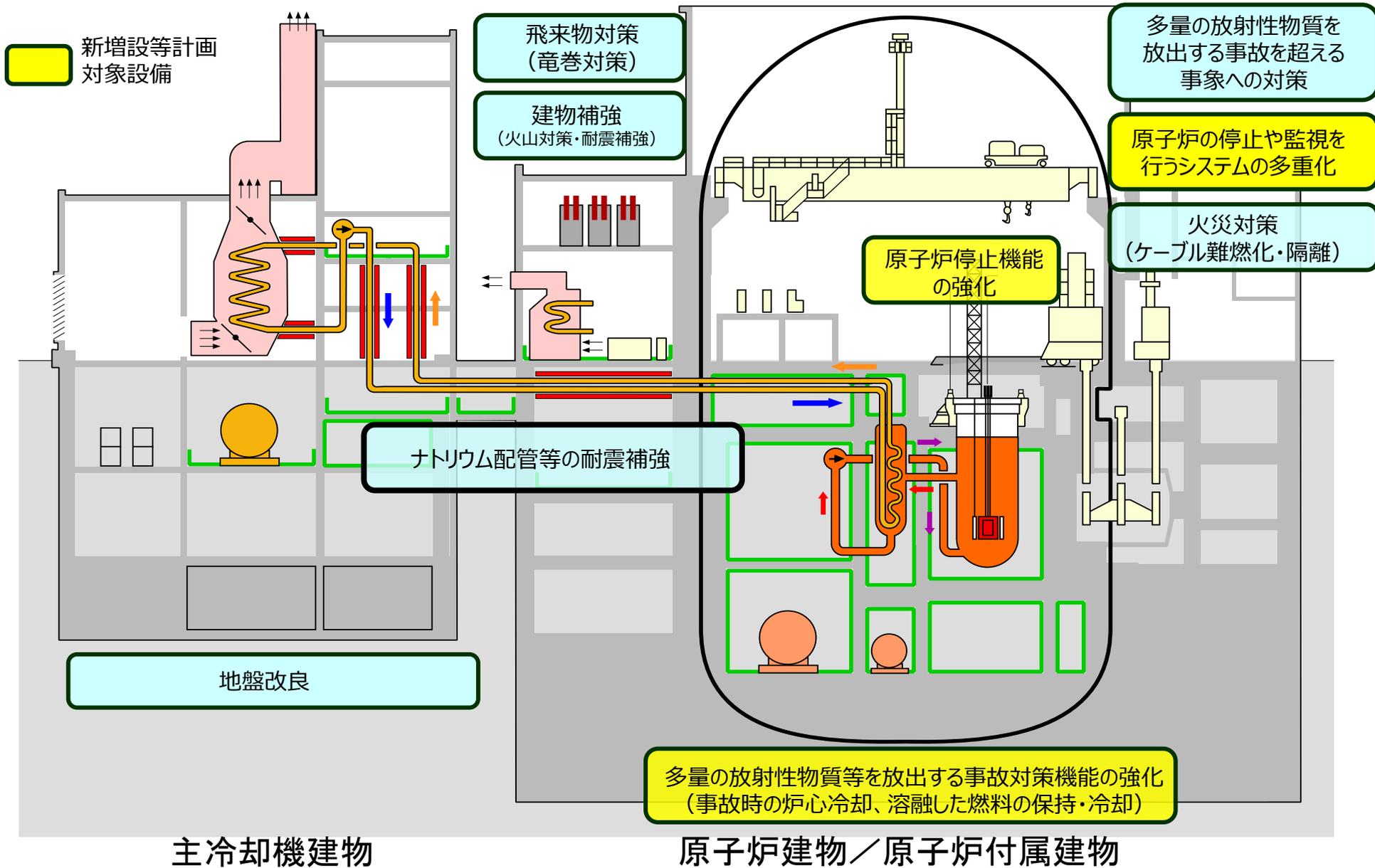


### 原子力のポテンシャルの追求

### 持続可能な原子力利用

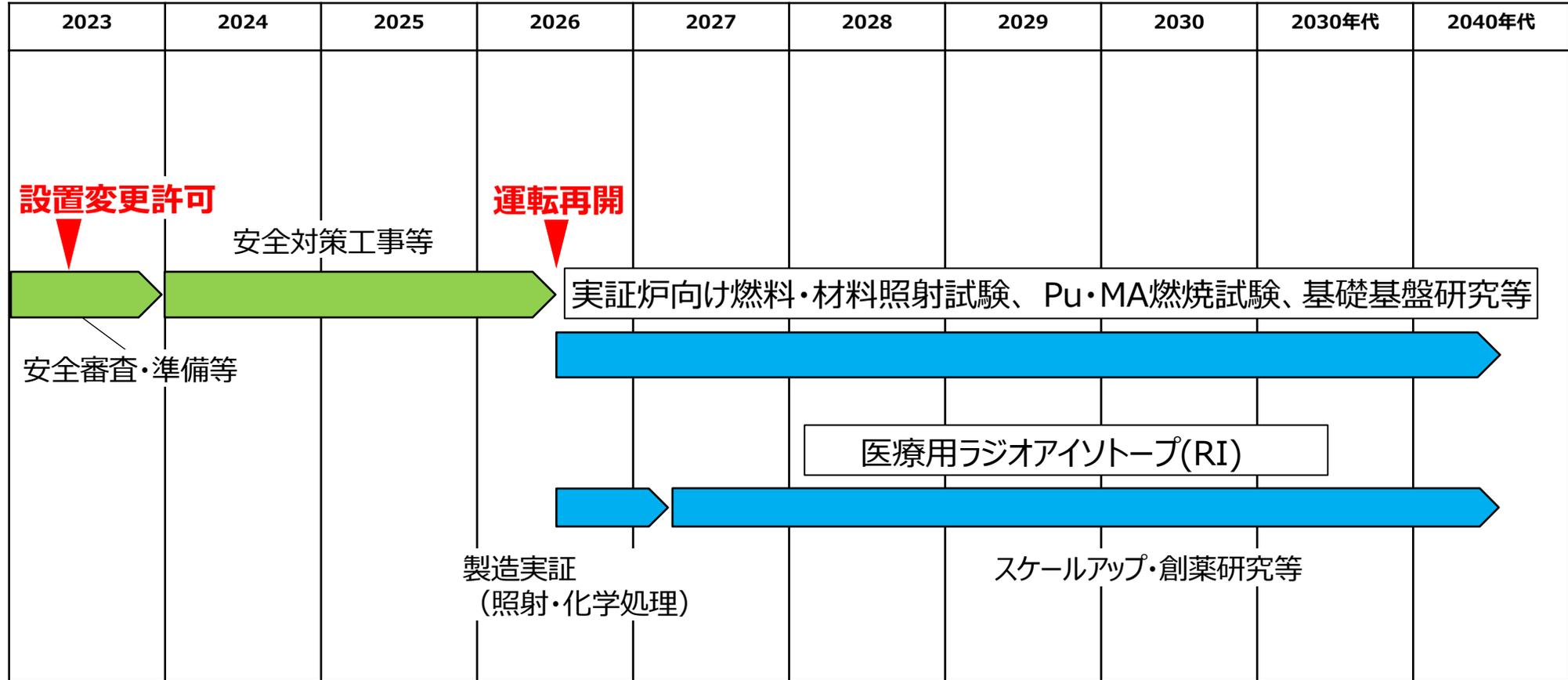
### 原子力技術者の育成

# 新規制基準適合に向けた対応—主な対策工事—





# 運転再開工程と照射試験計画



※ 運転再開後のスケジュールについては、RI製造実証の進捗や実証炉の開発工程により変更があり得る。また、これ以外にも大学等の受託照射なども実施予定